

## PHP フレームワーク Laravel 入門【正誤表】

### ●45 ページ 本文 下から 2 行目

【誤】 namespace と use 文は変わらないため、

【正】 namespace と use 文は変わらないため、

### ●47 ページ リスト 2-11 11 行目

【誤】 \$end = '</body></head>';

【正】 \$end = '</body></html>';

### ●88 ページ リスト 3-26 19～22 行目

【誤】 <ul>

<p class="menutitle">※メニュー</p>

<li>@show</li>

</ul>

【正】 <h2 class="menutitle">※メニュー</h2>

<ul>

<li>@show</li>

</ul>

### ●91 ページ 図 3-38

【訂正】 リストの実行状態と掲載の図が一部異なっています。リストを実行した場合、「インデックスページ」の上に、「※メニュー」というテキストが表示されます。

### ●93 ページ リスト 3-28 4 行目と 6 行目

【誤】 .msg\_title { margin:10px 20px; text-color:#999; font-size:16pt; font-weight:bold; }

.msg\_content { margin:10px 20px; text-color:#aaa; font-size:12pt; }<ul>

【正】 .msg\_title { margin:10px 20px; color:#999; font-size:16pt; font-weight:bold; }

.msg\_content { margin:10px 20px; color:#aaa; font-size:12pt; }

### ●97 ページ リスト 3-32

【訂正】 @each を使い、item テンプレートの内容を繰り返し表示していますが、この前後に<ul>,</ul>タグが抜けていました。以下のような形でタグを追記して下さい。

<ul>

@each('components.item', \$data, 'item')

</ul>

●102 ページ 下から 8 行目

【誤】これは Illuminate\Support\Facades 名前空間にある……

【正】これは Illuminate\View 名前空間にある……

※引数 \$view の名前空間についての記述ですが、これはファサードではないので Illuminate\Support\Facades 名前空間というのは誤りでした。Illuminate\View 名前空間になります。

●109 ページ 図 4-1 右の枠内

【誤】ビューコンポーザ

【正】ミドルウェア

●109 ページ ミドルウェアを作成する

【訂正】リスト 4-2 でミドルウェアを作成していますが、その後、Kernel.php への登録についての説明がされていませんでした。リスト 4-2 を記述後、/app/Http/Kernel.php 内の \$routeMiddleware 配列内に以下の文の追記が必要です。

```
'hello' => \App\Http\Middleware\HelloMiddleware::class,
```

既に登録されていると錯覚していたようで、リスト掲載を行っていませんでした。これがないと、図 4-3 と図 4-5 の部分でミドルウェアが動作しないことになります。この \$routeMiddleware は、ルートごとにミドルウェアを登録するためのものです。

なお、ミドルウェアのグローバル登録とグループ登録については、その後の「ミドルウェアのグループ登録」のところで説明を行っています。

●121 ページ 下から 5 行目

【誤】this->validate(\$request, [ 検証設定の配列 ] );

【正】\$this->validate(\$request, [ 検証設定の配列 ] );

●146 ページ sometimes の挙動について

本書 P.146 にて、Validator の sometimes メソッドについて説明していますが、説明内容に誤りがありました（ページの下から 2 行目付近）。

【誤】true の場合は何もませんが、false の場合は sometimes で指定したルールを項目に追加します。

【正】false の場合は何もませんが、true の場合は sometimes で指定したルールを項目に追加します。

また、これにあわせ、その後のリスト 4-27 における sometimes メソッドの実行内容も修正してお読み下さい。

【誤】return !is\_int(\$input->age);

【正】return is\_numeric(\$input->age);

●150 ページ リスト 4-28

【訂正】use 文を追記するようコメントを付けてありますが、この 1 行目の部分を以下のように変更下さい。

```
// use Illuminate¥Validation¥Validator;
```

↓

```
// use Validator;
```

use Illuminate¥Validation¥Validator では、リスト 4-28 は問題ないのですが、4-31 でエラーになってしまいます。  
上記のように use Validator; に書き換えて下さい。

#### ●182 ページ env の環境変数について

<値の設定欄 2 行目>

【誤】 DB\_DATABASE=database.sqlite

【正】 DB\_DATABASE=.....database.sqlite のパスを指定.....

<値の設定欄 すぐ下の本文>

【誤】 どちらも database.php のデータベース設定で見たことのある値ですね。これらの値を SQLite 用に変更すれば、これでデータベースの設定がすべて完了したことになります。

【正】 DB\_DATABASE には、データベースファイル(database.sqlite)のパスを指定します。これでデータベースの設定がすべて完了したことになります。

#### ●243 ページ リスト 6-15

【訂正】 コード 1 行目に以下の use 文を追加します。

```
use Illuminate¥Database¥Eloquent¥Builder;
```

なお第 4 刷以降ではリスト 6-15 にこの文が追加されていますが、「この use 文をスクリプトの冒頭に追加する」というコメントが付けられていないため、わかりにくかったかもしれません。use 文は、「スクリプトの冒頭」に記述して下さい。

#### ●245 ページ リスト 6-17 1 行目

【誤】 use App¥Scopes¥ScopePerson; を追加

【正】 // use App¥Scopes¥ScopePerson; を追加

リスト 6-17 の 1 行目も「この use 文をスクリプトの冒頭に追加する」というコメントが付けられていないため、わかりにくかったかもしれません。use 文は、「スクリプトの冒頭」に記述して下さい。

#### ●246 ページ リスト 6-18

【注意】 Person クラスの修正を行っていますが、既にリスト 6-5 で作成しておいた getData メソッドはそのまま残すようにして下さい。

●291 ページ Create および store アクションの作成 本文 1 行目

【誤】 RestdataController.php

【正】 RestappController.php

●310 ページ 本文 1 行目

【誤】 修正したら、/hello にアクセスしてみてください。

【正】 修正したら、/hello?sort=name にアクセスしてみてください。

●319 ページ リスト 7-29 <a>タグの href 属性

【誤】 href="/regster"

【正】 href="/regist<sup>i</sup>ster"

●322 ページ 7-4 ユーザー認証/ログイン処理の実装

【訂正】 ここでは Auth による認証の実例として /hello/auth を作成していますが、/hello/auth のルート情報を /routes/web.php に追記する説明が抜けていました。動作確認を行う際は web.php に以下を追記して下さい。

```
Route::get('hello/auth', 'HelloController@getAuth');  
Route::post('hello/auth', 'HelloController@postAuth');
```

<本書紹介サイト>

<https://www.shuwasystem.co.jp/book/9784798052588.html>

<秀和システム>

<http://www.shuwasystem.co.jp/>